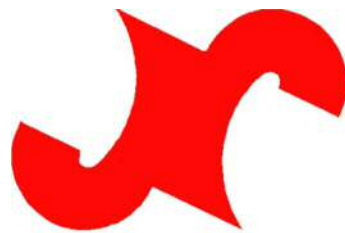


八戸市長 小林 眞 様

# 令和4年度要望書



令和3年10月7日

八戸商工会議所

## 令和4年度 八戸市に対する要望事項

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから1年半もの間、緊急事態宣言等の発令・延長が繰り返され、活動の制約要請により依然としてマイナス成長に陥り、感染拡大への強い警戒感から国民の消費マインドは停滞し、経済回復への不透明感はいまだに高い状況にあります。

八戸市においても、飲食・宿泊業のみならず、多くの業種・業態において業績が悪化し、先の見通せない不安感から雇用を控える事業所も増加傾向にあるなど、今まさに正念場に立っております。

こうした中、地域を支える中小企業・小規模事業者は、国・県・市のコロナ支援策を最大限活用し、事業継続と雇用維持に懸命に取り組んでおります。

当所におきましても、「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置し、地域事業者の各種の経営支援を行うと共に、市と連携してプレミアム食事券や商品券発行事業などに代表される各種の地域振興事業を並行して展開している状況です。

今後、「ウイズ・ポストコロナ」の社会情勢を見据え、「ビジネスモデルの変革」に向けた支援等を積極的に図り、地域の活力を維持していくためには、貴市との連携により課題の解決に努めていくことが必要不可欠です。

つきましては、八戸市が推進する各種施策・プロジェクトが地域経済に大きな効果を及ぼし、地域産業の維持・振興が図られるよう下記事項について速やかな実施を要望致します。加えて、施策実現に向けて国・県等関係機関に対し強く働きかけて頂きますよう併せて要望致します。

### 記

○最重点要望 6項目

○重点要望 16項目

## 令和4年度八戸市に対する要望事項 最重点要望

No.	要望事項	備考
1	新型コロナウイルス感染症の影響長期化に伴う総合的な経済対策	新規
2	中小企業・小規模企業への支援策の強化と対策予算の拡充	新規
3	観光関連産業の回復とポストコロナに向けた施策の実施	新規
4	創業者支援の拡充・強化	
5	公共工事の継続的確保並びに地元企業への優先発注の促進 (1)公共工事事業費の継続的確保・発注の平準化並びに「ゼロ市債」の継続実施及び増額 (2)公共工事における地元企業への優先発注の促進 (3)最低制限価格の引き上げ (4)物品調達並びに役務の提供における地元中小企業への優先発注	
6	八戸港活性化対策の推進並びに国際拠点港湾の指定 (1)航路・泊地における公称水深の維持浚渫 (2)港湾施設(埠頭及び岸壁)の機能維持並びに安全確保 (3)ポートアイランドのインフラ整備並びに利用促進、第3期計画の事業促進 (4)総合的な地震・津波防災対策の推進 (5)企業誘致による八戸港の積極的な活用 (6)内航・外航コンテナ船の誘致 (7)八戸港の国際拠点港湾の指定	

## 重点要望

### ■中小企業振興・景気対策等

No.	要望事項	備考
1	地域の雇用維持とポストコロナを見据えた雇用対策の強化	
2	はちのへ創業・事業承継サポートセンターの運営強化	
3	公共工事における働き方改革の推進	
4	八戸北インター第2工業団地の着実な整備推進と地元企業の優先活用	
5	「Buyはちのへ」事業への支援並びに運動啓発への協力	
6	水産業発展に資する施策の強化 (1)漁港・産地間競争力の強化 (漁船誘致の促進並びにHACCP対応型荷捌き施設A棟の利用の拡大) (2)HACCP対応型荷捌き施設A棟の活用に係る漁船・流通業者・水産加工場のEU登録等に向けた取り組みへの支援 (3)水産物ブランド化推進、並びに主力魚種の粗脂肪分等の栄養成分の分析の実施 (4)放射性物質の国内外風評被害対策の推進 (特に韓国・中国等輸出主要国への輸入規制解除に向けた対策)	
7	八戸前沖さばブランド推進事業に係る支援	新規

## ■都市基盤整備

No.	要望事項	備考
1	上北自動車道「天間林道路」の着実な事業促進並びに東北縦貫自動車道八戸線「七戸～青森間」の機能強化	新規
2	都市計画道路白銀・市川環状線(3・3・8)の全線早期完成	
3	都市計画道路沼館・三日町線(3・5・1)の早期完成及び現道コミュニティ道路の整備	
4	SDGsに基づく海洋ごみ回収事業の継続	

## ■まちづくり

No.	要望事項	備考
1	第3期八戸市中心市街地活性化基本計画の着実な実行	
2	中心市街地における歩行環境の整備促進 (1)市道停車場上線及び市道烏屋部町線の整備促進 (2)八戸市中央駐車場からヤグラ横町区間の優先整備 (3)主要地方道八戸大野線三日町から大工町区間の整備促進 (4)歩行者に対する案内表示の徹底 (5)本八戸駅から屋内スケート場までのアクセス向上	
3	八戸市空家等対策計画の着実な実行	新規
4	各商店会が実施する商業振興事業への支援	新規

## ■観光振興

No.	要望事項	備考
1	三陸復興国立公園における観光客受入体制の強化 (1)鮫角灯台下から葦毛崎展望台間の車道拡幅・歩道整備 (2)遊歩道の適正な維持・修繕 (3)国立公園内の安全で快適なサイクリングロードの整備	

# 最重点要望事項

## 1. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化に伴う総合的な経済対策

(新規)

八戸市の中小企業・小規模企業の多くは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛、移動制限等に伴う経済の停滞により、規模、業種を問わずに深刻な打撃を受けており、今まさに正念場に立っている状況にあります。

特に、飲食・宿泊業、交通事業者など観光関連産業においては、コロナ禍での減収が経営に直接的に影響を及ぼしており、事業活動の存続が危ぶまれている事業者も少なくありません。

今後、ワクチン接種の普及などにより感染症の収束が見通せたとしても、本格的な需要回復やその恩恵が地方に及ぶには相当の時間を要するものと推察され、地域事業者の先行き不透明な状態はしばらく続くものと思われまます。

つきましては、感染予防対策と並行して、地域の雇用を生み出している地域事業者の事業存続に対して、重点的に支援していただくとともに、収束後における地域経済の速やかな回復に資するために、消費喚起を促す事業などの実施を含めた総合的な経済対策を図って頂くよう要望致します。

## 2. 中小企業・小規模企業への支援策の強化と対策予算の拡充

(新規)

地域経済を担う中小企業・小規模企業においては、企業の発展と安定的な経営にむけて、自助・自立を基本として懸命な努力を続けています。

このような中、新型コロナウイルス感染症による売上・受注の低迷に加え、生産性の向上やキャッシュレス対応、事業承継対策など多くの課題が経営の負担となっております。

八戸市におかれましては、中小企業・小規模企業に対する支援については、第7次八戸市総合計画の施策として検討され、また、令和3年度内には中小企業・小規模企業振興基本条例の制定に向け準備がされているとのことであり、今後、益々、当所との連携を含めての支援が必要となっております。

つきましては、地域の持続的発展の礎となる中小企業・小規模企業の事業維持・存続のため、条例や総合計画に掲げられる理念や施策の着実な実行と、刻々と変化する経済環境に対応したスピード感のある新たな施策の実施や対策予算処置などを図って頂くよう要望致します。

### 3. 観光関連産業の回復とポストコロナに向けた施策の実施

(新規)

観光関連産業は、コロナ禍により極めて厳しい状況にあり、関係業種の裾野が広いことから八戸市経済全体に与える影響は甚大となっております。

また、当所において継続して実施している「新型コロナウイルス感染症に関する影響調査」によると、観光関連業種については売上減少に歯止めがかからず、回復の兆しも見通せない結果となっております。

このような中、八戸市におかれましては、「おんでやあんせ八戸観光誘客支援事業」や「八戸市宿泊施設感染防止対策等支援補助金」をはじめとする各種施策を講じております。

観光需要の回復期に至るまでは、引き続き八戸市による積極的な支援を講じて頂き、官民一体となって業界の回復に取り組んでいかなければならないものと考えております。

つきましては、当該産業の回復無くして八戸市経済の再活性化が見込めないことから、現下の難局を乗り越えるための新たな支援並びにポストコロナを見据えた施策を段階的に講じて頂くよう要望致します。

### 4. 創業者支援の拡充・強化

中小企業白書2020年版に掲載されている都道府県別開廃業率の状況によると、開業率において青森県は全国47都道府県中44番目の3.1%と、全国平均の4.4%に比べて低い水準となっております。

同調査をもとに、開業率が5%を超えるような上位の自治体についてその取組み内容を精査しますと、国の創業支援等事業計画の認定はもとより、特定創業支援等事業を受けた者に対し、独自の補助金制度や法人設立時の登録免許税、定款認証手数料の支援など、自治体オリジナルの施策の充実化が図られており、創業しやすいまちづくりが行われていると考えられます。

当所では、はちのへ創業・事業承継サポートセンターの相談対応を通じ、累計200者を超える創業者、120者を超える特定創業支援等事業者を輩出して参りましたが、取り組みに成果がでていないものの、全国平均の開業率となるには、更なる支援が必要であります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、新たなチャレンジを行う創業者を後押しするため、創業に際した負担軽減並びに特定創業支援等事業者に対する支援制度の拡充等の市独自の支援施策を講じて頂くよう要望致します。

## 5. 公共工事の継続的確保並びに地元企業への優先発注の促進

公共工事は、市民生活の基盤整備だけでなく地域経済を支える重要な役割を担っております。一方、業界を取り巻く情勢は、昨年度後半からコロナ禍等の影響による原材料をはじめとした建設資材の高騰、不足が生じるなど厳しさを増しており、年間を通じて安定した経営を維持するためには、工事発注の平準化や受注機会の確保、ゼロ市債の継続実施等が必要不可欠であります。

つきましては、今後厳しい財政状況も予想されますが、公共工事に係る事業費の継続的確保並びに地元企業への優先発注による業界の振興に資する下記事項について特段のご高配を賜りますようお願い致します。

- (1) 公共工事業費の継続的確保、発注の平準化並びに「ゼロ市債」の継続実施及び増額
- (2) 公共工事における地元企業への優先発注の促進
- (3) 最低制限価格の引き上げ
- (4) 物品調達並びに役務の提供における地元中小企業への優先発注

## 6. 八戸港活性化対策の推進並びに国際拠点港湾の指定

八戸港は、北東北最大の工業港であり、国際・国内海上輸送における拠点性はより一層高まってきております。また、大規模災害時における産業活動・物流機能を維持しながらの安全の確保、港湾施設の防災機能強化や防波堤整備等の総合的な対策が強く求められております。

つきましては、八戸港のさらなる発展に資する下記の項目について、国・県等関係機関に強く働きかけて頂くようお願い致します。

- (1) 航路・泊地における公称水深の維持浚渫
- (2) 港湾施設(埠頭及び岸壁)の機能維持並びに安全確保
- (3) ポートアイランドのインフラ整備並びに利用促進、第3期計画の事業促進
- (4) 総合的な地震・津波防災対策の推進
- (5) 企業誘致による八戸港の積極的な活用
- (6) 内航・外航コンテナ船の誘致
- (7) 八戸港の国際拠点港湾の指定

# 重点要望事項

## ■中小企業振興・景気対策等

### 1. 地域の雇用維持とポストコロナを見据えた雇用対策の強化

地域中小企業は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が長期化し収束が見通せない中で、非常に厳しい経営状況が続いております。

業種によっては、売上回復の目途も立たず、雇用調整助成金等の各種支援策を活用しながら、事業の存続と雇用の維持に努力を続ける業種がある一方で、慢性的な人手不足問題に苦慮している業種もあります。

つきましては、地域中小企業の事業継続と雇用維持のため、新規学卒者の地元定着及びU I J ターンなど移住者も含めた地元就職への取り組みをより一層推進されますよう、地域雇用市場の動向を注視しながら、引き続き積極的な雇用対策を講じて頂くよう要望致します。

### 2. はちのへ創業・事業承継サポートセンターの運営強化

八戸市の委託を受けて運営を行っている「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」は、令和2年度実績で創業者35者の輩出、事業承継成立6件に関与するなど利用率・実績共に高水準で推移しております。また、令和2年度からは電子メール等での相談にも積極的に対応し、対面型の相談件数686件に加えて、約400件に上る非対面型対応も行っております。

相談の傾向として、センター開設からの累計創業者数が200者を超えており、長期化する新型コロナウイルス感染症対応相談等の創業フォロー件数が年間で400件を超えるなどフォロー対応の充実化が求められております。更には事業承継相談も増加傾向にあることから、これまで以上に支援体制の整備、人的対応力の強化等が求められております。当所と致しましては、これまでも職員2名を専従させると共に、専従以外の職員も対応を行うなど業務の負荷状況は年々増加しております。

つきましては、当センターの機能及び諸活動の強化・充実を図るための運営事業予算の拡充及び人的対応力の強化に資する措置についてご対応頂くよう要望致します。



### 3. 公共工事における働き方改革の推進

令和元年6月に「新・担い手3法」が制定され、「働き方改革」や「生産性の向上」が国の主要政策として推進されております。

現在、平成31年4月の改正労働基準法において定められた、建設業における時間外労働の上限規制適用の猶予期限まで残り2年とせまっていることから、個々の企業においても一層の取り組みを図っているところではありますが、慢性的な人手不足等により思うように進まない状況にあります。

つきましては、コロナ禍で働き方が激変する中で働き方改革を推進するためには、工事発注者等関係機関の対応がこれまで以上に必要になることから、八戸市が発注する公共工事において、適切な工期及び予算の設定、事務処理の簡素化と効率化（関係書類の軽減等）を一層図って頂くよう要望致します。

### 4. 八戸北インター第2工業団地の着実な整備推進と地元企業の優先活用

八戸市の積極的な誘致活動により八戸北インター工業団地の分譲率は95%を超え、その限界が近づいております。

つきましては、企業立地の機会ロスは地域経済の損失に繋がることから、同地南側に開発を予定されている八戸北インター第2工業団地の着実な整備推進と、整備完了後の積極的な企業誘致について要望致します。

また、誘致企業進出に伴う建設工事並びに資材調達や日常の物品調達における地元企業の優先活用及び地元経済関係団体への入会について、引き続き、誘致企業に働きかけて頂くよう要望致します。

### 5. 「Buyはちのへ」事業への支援並びに運動啓発への協力

Buyはちのへ運動は、平成21年に開始して以来、地域循環型経済の構築に向けた取り組みを実施しております。当該運動は、事業者や消費者の意識啓発を目的としており、一過性の事業ではなく、ポストコロナにおいて持続的な市経済の維持・発展を目指す観点からも継続して事業を進めていく必要があります。

つきましては、Buyはちのへ運動の事業費について引き続きご支援頂くとともに、運動の更なる普及啓発に向けて協調して取り組んで頂くよう要望致します。

## 6. 水産業発展に資する施策の強化

近年、水産業界を取り巻く環境は、漁業資源の減少や漁獲規制の強化、消費者ニーズの変化などにより原料不足、魚価の高騰、魚種変動への対応等、非常に厳しい状況に置かれております。

このような現状を打破するために、他地域との差別化を図る「安心・安全」の水産物ブランドのPRや漁港の利用拡大に向けた取組み等が不可欠です。

つきましては、八戸市の水産業発展に資するため、下記の項目に取り組んで頂くよう要望致します。

- (1) 漁港・産地間競争力の強化  
(漁船誘致の促進並びにHACCP対応型荷捌き施設A棟の利用の拡大)
- (2) HACCP対応型荷捌き施設A棟の活用に係る漁船・流通業者・水産加工場のEU登録等に向けた取組みへの支援
- (3) 水産物ブランド化推進、並びに主力魚種の粗脂肪分等の栄養成分の分析の実施
- (4) 放射性物質の国内外風評被害対策の推進  
(特に韓国・中国等輸出主要国への輸入規制解除に向けた対策)

## 7. 八戸前沖さばブランド推進事業に係る支援

(新規)

当所では、「八戸前沖さばブランド推進協議会」の運営を通じて、八戸市の水産資源であるサバの付加価値向上にむけた事業に取り組んでおります。八戸市におかれましても、令和3年度から「水産加工試作品製造支援事業補助金」を創設頂いておりますが、今後は、より一層官民一体となった事業が必要であります。

つきましては、ポストコロナに向けた当該ブランドの再構築や販路拡大に向けて、中核的役割を担う協議会事業にご支援頂くよう要望致します。

## ■都市基盤整備

### 1. 上北自動車道「天間林道路」の着実な事業促進並びに東北縦貫自動車道八戸線「七戸～青森間」の機能強化（新規）

上北自動車道は、東北縦貫自動車道八戸線及び百石道路、第二みちのく有料道路・みちのく有料道路といった既存路線との一体的な活用により、八戸市と青森市を結ぶ極めて重要な路線として位置づけられており、令和4年内の供用開始を目指していると同っております。

つきましては、高規格道路ネットワークの形成や地域間の交流・物流促進を図るためにも、上北自動車道の全線開通に向けた「天間林道路」の着実な事業促進と東北縦貫自動車道八戸線「七戸～青森間」の機能強化について、国等関係機関に強く働きかけて頂くよう要望致します。

### 2. 都市計画道路白銀・市川環状線（3・3・8）の全線早期完成

都市計画道路白銀・市川環状線（3・3・8）は、八戸港、八戸ニュータウン、桔梗野工業団地等の主要な産業拠点のみならず、市民病院並びに八戸消防署が立地する医療・防災の拠点地区である田向地区とも連結する幹線道路であり、八戸市中心部へ集中する放射交通の分散導入を図る上で重要な路線であります。

つきましては、災害時の緊急輸送道路も兼ねる本都市計画道路の全線早期完成について県等関係機関に強く働きかけて頂くよう要望致します。

### 3. 都市計画道路沼館・三日町線（3・5・1）の早期完成及び現道コミュニティ道路の整備

都市計画道路沼館・三日町線（3・5・1）は、新たに整備される八戸市新美術館をはじめ、中心市街地へのアクセス経路として重要な役割を担っております。

つきましては、十分な予算確保や迅速な事業推進等について、国・県等関係機関に強く働きかけていただき、同路線が早期に完成するよう要望致します。

また、同路線の動向を見ながら、現道コミュニティ道路の整備についても着実に進めて頂くよう要望致します。

### 4. SDGsに基づく海洋ごみ回収事業の継続

当所水産業部会を含めた水産6団体は、全国の水産業界に先駆けSDGsゴール14『海の豊かさを守ろう』を推進すべく、令和元年6月に「八戸港版・SDGs推進宣言」を行いました。昨年は、県や市のご協力のもと、八戸港の海底ごみ及び入網ごみの回収事業を実施していただいておりますが、今後も、海洋ごみを継続的に削減する対策が必要であります。

つきましては、八戸市の基幹産業である水産業の持続可能な発展のために、海洋ごみ回収事業を継続して頂くよう要望致します。

## ■まちづくり

### 1. 第3期八戸市中心市街地活性化基本計画の着実な実行

八戸市におかれましては、第3期八戸市中心市街地活性化基本計画掲載66事業について、官民挙げて取り組んでおられます。

つきましては、基本計画が掲げる数値目標の達成に向けて、各種事業を持続的かつ着実に実行頂くと共に、民間事業者が実施する事業に対しまして、引き続きご支援頂くよう要望致します。

また、基本計画の推進に当たり、その総合調整役である八戸市中心市街地活性化協議会の運営に対しましても、引き続きご支援頂くよう要望致します。

### 2. 中心市街地における歩行環境の整備促進

中心市街地は、屋内スケート場や八戸市美術館などの整備により、来街者の増加も期待される一方で、安心・安全で快適とは言い難い区間も存在しております。

つきましては、下記項目により、中心市街地の歩行環境を整備頂くとともに、施設への案内表示を徹底頂くよう要望致します。

- (1) 市道停車場上線及び市道鳥屋部町線の整備促進
- (2) 八戸市中央駐車場からヤグラ横町区間の優先整備
- (3) 主要地方道八戸大野線三日町から大工町区間の整備促進
- (4) 歩行者に対する案内表示の徹底
- (5) 本八戸駅から屋内スケート場までのアクセス向上

### 3. 八戸市空家等対策計画の着実な実行

(新規)

全国的に空き家問題が深刻化する中、八戸市においても、平成30年住宅・土地統計調査によると、空き家総数は16,970戸で、空き家率は15.4%と高い水準で推移しております。

つきましては、令和3年3月に策定された「八戸市空家等対策計画」の各種取組の着実な実行により、空家等の適切な管理や利活用が促進されるよう要望致します。

### 4. 各商店会が実施する商業振興事業への支援

(新規)

市内商店街では、「新丁夜店」や「六日町ナイトオリエンテーリング」など、長い年月をかけて市民に根付いている独自イベントを自主的に運営しております。また、湊地区や横丁の環境整備など、それぞれの地域で特有の課題も抱えております。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による「イベントの中止」や「インターネットショッピングの進展」など、来街者の減少や購買動向の多様化は、コミュニティの場としての商店街機能に大きな影響を及ぼしていることから、今後は、地域の事業者や住民が、各々の課題を主体的に解決していくことが必要であります。

つきましては、市内商店街が実施する事業に対して、ご支援頂くよう要望致します。

## ■観光振興

### 1. 三陸復興国立公園における観光客受入体制の強化

平成25年5月に「三陸復興国立公園」に指定された蕪島から種差海岸一帯地域は、令和3年度内に完成を予定している三陸復興道路の全線開通により来訪者の増加が見込まれます。

一方で、同地域は優れた景観を保有しながらも、インフラについては安全面を十分に確保できておりません。

つきましては、蕪島から種差海岸一帯の観光客受け入れ体制を強化するための下記項目について取り組んで頂くよう要望致します。

- (1) 鮫角灯台下から葦毛崎展望台間の車道拡幅・歩道整備
- (2) 遊歩道の適正な維持・修繕
- (3) 国立公園内の安全で快適なサイクリングロードの整備

令和3年10月7日

八戸商工会議所  
会頭 河村 忠夫